



「グーグルマップ」

校長 山口 敦

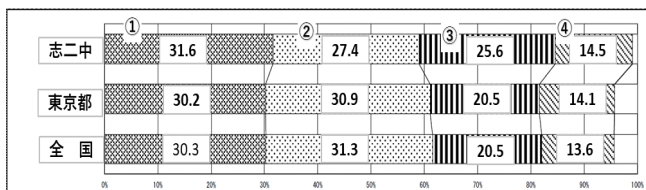
昼休みの時間に図書室に行くこと、学校図書館担当の長尾先生がいつもいらっしゃいます。ある日、長尾先生は次のように話してくれました。「最近、生徒はよく来室するのだけれども、本を読んだり、借りたりする生徒は、コロナ以降、大分減ってきています。」

昨年の全国学校図書館協議会による「学校読書調査」の結果によると、2024年5月の1か月間の平均読書冊数は、小学生は13.8冊、中学生は4.1冊、高校生は1.7冊で、不読者（5月の1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒）の割合は、小学生は8.5%、中学生は23.4%、高校生は48.3%とあります。

4月に行われた9年生対象の全国学力・学習状況での質問で、「読書は好きですか」の回答は、都や全国と比較してみると、好きという割合は同程度ですが、あまり好きではないという割合が多いです。

【読書は好きですか？】

①好き②やや好き③やや嫌い④嫌い



近年、若者の読書離れということが進んでいるという話も聞きます。一方で、スマホを使う時間がどんどん伸びているようです。スマートフォンなどの情報機器の使用に時間をとられているということなのでしょうか。

一般的に、読書をすることで、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになるといわれています。

筑摩書房の「ちくま Q ブックス 未来のきみを変える読書術」（苫野一徳著）の一部を紹介します。

【読書は僕たちをグーグルマップにする】大量の読書経験を積んでいると、ある日突然、自分がグーグルマップになって地上を真上から見下ろし、入り組んだ迷路の全体像が見えてくる。そして、どの道を通っていけば、自分の望む地点に到達できるか、人工衛星から地球を見下ろす、グーグルマップになったかのような光景が見えてくる。別の言い方をすれば、同じレントゲン写真でも、私たちの見るレントゲン写真と、医師の見るそれとがまったく違っているように、大量の読書経験を積み、世界の見え方がまるで変わってしまいます。

【クモの巣】読書は頭の中に教養のウェブ、つまりクモの巣状の知のネットワークを張り巡らせ、そこにひらめきの電流を流します。頭の中に教養がクモの巣のように張り巡らされていれば、そのネットワークに一筋の電流がほとぼしり、あらゆる知恵や知識や思考が一つにまとまり、人生の難題を解

決するための最適解が見いだせます。

【経験】読書も一つの経験です。私たちが直接経験できることは、ごくわずかに過ぎません。自分が置かれた環境に、私たちは経験も思考も限定されて生きています。どれだけ世界中を飛び回っている人も、この世界の何もかもを見聞きすることなどでできません。しかし、私たちはそんな直接経験の世界を読書によって広げることができます。水泳の理論書だけを読んでも、確かに泳げるようにはなりません。もっと速く、また上手に泳ぎたいと願うなら、その理論書を読む経験は、まさに直接経験を拡張してくれる豊かな経験になります。

【ネットじゃダメなの？】時と場合によっては、ネットからの知識や情報の入手で十分だと思います。とりわけ、ピンポイントで断片的な知識や情報を素早く手に入れたい時は、ネットの方が圧倒的に便利です。でも、本とネットの情報や記事との間には、決定的な違いがあるのです。多くのネット上の文章が十分な検証を経ていないのに対して、本の場合は、編集者や校閲者による厳しいチェックを経ているという点が挙げられます。校閲とは、誤字脱字や言葉遣いなどのチェックだけでなく、書かれてある内容の事実確認なども行う仕事です。1冊の本には、多くの場合何人もの人の情熱や知が注がれているのだということを、ぜひ知っておいていただくと嬉しく思います。

学校では、毎朝の8時25分から35分までの10分間、「朝読書」として、教室で生徒たちが静かに本を読む時間になっています。朝、静かな雰囲気スタートすることから、生徒が落ち着つく、遅刻者が減る、さらに読解力が付くなど様々な効果があると言われています。

10月27日から11月9日までの2週間、読書週間でした。秋の夜長に、家族で読書をしてみませんか。同じ空間で本を読む・おすすめの本を教えあう・読んでもらう・自分で読む・感想や意見を話しあう…。家庭内での会話が aumentari、家族の絆を深めることにつながります。たまには、本を通じて子どもたちとの楽しいひとときを過ごしてみてもいいでしょうか。子どもたちの新しい一面を発見できるかもしれません。

【最後に】

「自分はこのことで悩んでいる。でもどうしたらいいかわからない」という人もいるでしょう。そんな人も本から解決のヒントを得ることができます。こんな言葉を聞いたことがあります。「人類の歴史は長く、いろいろな人たちが生きてきた。今、あなたが悩んでいることは必ず誰かが悩み解決している。その人が書いた本からヒントをもらうことができる」。本の魅力は、その人がどんなに有名であろうとも、あるいはもう生きていない過去の人であろうとも、その人の書いた文章が解決のヒントを語りかけてくれることではないかと思います。

笑顔と学びのプロジェクト

10月2日(木)東京都の笑顔と学びの体験活動プロジェクトを活用して、ソプラノ歌手の坂井田真実子さんとピアノ伴奏者の石井里乃さんをお招きし、合唱体験を行いました。



始めにお二人の演奏を聞いた後、学年ごとに歌唱指導をしていただきました。この時間を通してさらに上達することができました。10月25日(土)の文化発表会での合唱発表に向けて大いに士気が高まりました。

生徒会任命式

10月6日(月)、生徒会委員会の認証式を行いました。生徒会長及び各委員長に校長先生から認証状が手渡されました。緊張した面持ちではありましたが、これからの志村二中を背負っていく気概がその表情から感じられました。これまでの伝統を守りながらも生徒全員が幸せを感じられる中学校を創り上げていってくれることを期待しています。

【各委員会委員長】[学級]7-2Kくん、8-2Oさん、9-3Mくん[生活]8-2Nさん[整美]8-2Yさん[図書]8-3Iさん[放送]8-1Mさん[保健]8-1Tさん[給食]8-1Mくん

小学校6年生 中学校体験入学

10月9日(木)、志村二小と志村四小の6年生の皆さんが来校し、生徒会による学校説明と中学校の先生による体験授業を行いました。6年生の皆さんの中学校への入学を楽しみにしています！



7年生 地域巡り

10月10日(金)7年生の校外学習として板橋地域巡りを行いました。事前に班ごとに調査を行い、興味のある区内の場所を選んで訪問し、学習を深めました。地域の魅力を再発見するとともに、仲間と協力して行動する中で集団としてのマナーや礼儀を学ぶことができました。



8年生 JOCオリンピック教室

10月10日(金)オリンピックの小口貴久先生(リュージュ)と大島杏子先生(体操)をお招きし、8学年対象のオリンピック教室を開催しました。体を動かす運動の授業と教室でオリンピックとしての貴重な経験を語っていただく授業は、大変興味深く、刺激的な学びの機会となりました。



あきらめずにベストを尽くす(エクセレンス)、お互いを理解し友情を育む(フレンドシップ)、相手・仲間への敬意や家族・友人への感謝(リスペクト)の3つの要素の重要性についての説明があり、その後、生徒達が自分の夢や目標を達成するために必要なこと、取り組みたいことを話し合い発表しました。

文化発表会 舞台の部



10月25日(土)文化発表会を行いました。今年度も生徒の皆さんは、持てる力を十分に発揮してくれ深い絆を感じることもできました。

みんなが一つに合わさることで「何て素敵なんだろう」「仲間っていいな」そんなことを実感します。目に見えるものも、見えないものも、みんなで創り上げる感動というものがあるのだと思います。

文化発表会で培った力をもとに、これからも仲間を大切に、仲間と共に創り上げる活動を大切にしていってほしいと思います。

《金賞》7年3組・8年1組・9年2組

《指揮者賞》7-1Iさん・8-1Kさん

8-3Kさん久・9-2Hさん



【11月～12月の主な予定】

11月	10	月	朝礼
	11	火	期末考査(英・理・保体) 給食なし
	12	水	期末考査(国・社・技家) 給食なし
	13	木	期末考査(数・音・美) 給食あり
	17	月	生徒朝礼
	23	日	勤労感謝の日/ESAT-J(9年)
	24	月	振替休日
12月	1	月	三者面談(始)～5日
	8	月	朝礼
	25	木	終業式 給食あり